

## 天気予報の精度検証の拡充について

天気予報をさらに有効に利用していただくため、天気予報の精度検証項目に、降水確率予報の精度検証、『降水あり』予報の適中率及び『降水なし』予報の適中率を加えます。

現在、毎月報道参考資料及び気象庁ホームページ（天気予報の精度検証結果 URL：<http://www.data.kishou.go.jp/yohou/>）で公表している、降水に関する天気予報の精度を検証した結果（降水の有無の適中率、見逃し率、空振り率など）に、12月から以下の項目を加えます。

### 新たに加える検証項目

#### 1. 降水確率予報の精度検証

発表した降水確率予報と、実際に降った雨や雪の割合とを比較検証し、検証対象期間の翌月に公表します。検証結果は、「予報した確率値」と「実際に降った降水の割合」を全国及び地方毎に平均して、グラフで示します。

- ・ 検証対象期間：3か月  
（3月～5月、6月～8月、9月～11月、12月～翌2月）
- ・ 対象とする予報：6時間毎、24時間先までの降水確率予報（05時と17時発表分）

#### 2. 『降水あり』予報の適中率及び『降水なし』予報の適中率

雨や雪の予報がどれくらい適中しているかを見るために、「降水がある」と予報した場合の適中率と「降水がない」と予報した場合の適中率をそれぞれ、検証対象月の翌月に公表します。検証結果は、全国及び地方毎に平均して示します。

『降水あり』予報の適中率	『降水あり』と予報した場合に、実際に降水があった割合(%)を示します。
『降水なし』予報の適中率	『降水なし』と予報した場合に、実際に降水がなかった割合(%)を示します。

- ・ 検証対象期間：1か月
- ・ 対象となる予報：  
府県天気予報（5時発表）の「今日（5時～24時）」・「明日（0時～24時）」予報  
府県天気予報（17時発表）の「今夜（17時～24時）」・「明日（0時～24時）」・「明後日（0時～24時）」予報  
週間天気予報の「3日目」～「7日目」予報

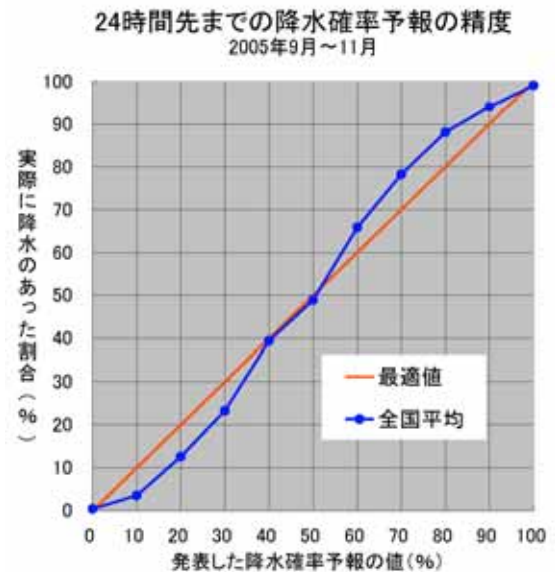
## 新たに追加される検証項目の内容

### 1. 降水確率予報の精度検証

降水確率予報では、予報対象時間（6時間）内に1mm以上の雨または雪の降る可能性を確率値（％）で発表しています。

降水確率予報の検証結果は、右図（全国での検証結果の場合）の様に、横軸を「予報した確率値（％）」に、縦軸をその確率値を発表したときの「実際に降水のあった割合（％）」<sup>注</sup>にしたグラフで示します。

「予報した確率値」と「実際に降水のあった割合」の差が小さいほど確率予報が適切であることを示しています。最も予報が適切な場合は、赤線（最適値）と一致します。



注)「実際に降水のあった割合」の計算方法

「実際に降水のあった割合」とは、例えば確率予報70%の場合を例にとると、3か月間に降水確率70%と予報した事例を集め、その中でアメダス観測点毎に1mm以上の降水が観測された事例の割合を計算し、全国又は地方毎に平均したものです。

### 2. 『降水あり』予報の適中率及び『降水なし』予報の適中率

『降水あり』予報の適中率及び『降水なし』予報の適中率を計算するために、『降水あり』・『降水なし』の予報それぞれに対して、対象地域内のすべてのアメダス観測点で予報対象時間内に1mm以上の降水があった回数となかった回数を集計して、右表のようにとりまとめます。

		予 報	
		降水あり	降水なし
観測	降水あり	A	B
	降水なし	C	D

表の見方

例えばAは、『降水あり』と予報した場合に、その中で実際に降水が観測された回数を示しています。

【降水の有無の適中率】(従来から発表)

すべての予報回数に対して『降水あり』の予報が適中した回数と『降水なし』の予報が適中した回数の合計の割合（％）です。

$$(A + D) / (A + B + C + D)$$

【『降水あり』予報の適中率】(新たに追加)

『降水あり』と予報した回数に対して、予報が適中した回数の割合（％）です。

$$A / (A + C)$$

【『降水なし』予報の適中率】(新たに追加)

『降水なし』と予報した回数に対して、予報が適中した回数の割合（％）です。

$$D / (B + D)$$

なお、一例として、各適中率の過去1年間（2004年12月～2005年11月）の全国平均を示します。

全国平均	明日予報（17時発表）	週間天気予報(3-7日平均)
降水の有無の適中率	82	71
『降水あり』予報の適中率	77	65
『降水なし』予報の適中率	84	72